

令和元年度がん教育推進校事業報告書

学校名 北海道名寄高等学校

①取組のテーマ

がんについての正しい知識の習得およびその予防について理解させる。また、健康と命の大切さについて主体的に考える態度を育成する。

②実践内容

対象学年 または 対象者	月	教科等	時間 数	ねらい	主な学習内容	外部講師の 相談希望
職員	8 9			実施計画立案他 企画の内部調整	校内検討会（保健体育科・理科）	
外部	9			外部への情報	推進校として、その取り組みをホームページなどで発信する。	
教員	10			がん教育について理解を深める。	がん教育研修会へ参加	
第1学年	10	保健 理科	1 1	生徒の実態把握	生徒向け事前アンケート実施	
第1学年 教員 保護者	11		1	がんについて講話を行い興味・関心を高める。	外部講師による講話	
第1学年	11	保健 理科	1 1	がん発生を生物学的側面より理解を深め、がん予防について考え実践できる態度を育成する。 名寄市立大学看護学科学生がグループ協議のアシスタントに加わり、より理解を深める。	がん発生（生物学的側面） がん予防（生活習慣・行動） グループ討議によりがん発生のメカニズムについて理解を深める。	
第1学年	12	保健 理科		実施後の理解・意識調査	生徒向けアンケート実施 教職員向けアンケート実施	
	1				事業報告書提出 アンケート結果提出	
外部	1			がん教育実践の結果を発信する。		

※適宜、枠を増減して記載してください。

③アンケート結果(生徒対象)

- (1)「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」
「そう思う」と回答した割合は57.3%から74.0%へと変化し、16.7%増加した。
- (2)「がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである」
「思わない」と回答した割合は25.0%から51.0%へと変化し、26.0%増加した。
- (3)「がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う」
「そう思う」と回答した割合は44.8%から64.6%へと変化し、19.8%増加した。

④実践の成果

- (1) 講話の実践について
名寄市立大学教授の講話において事前、事後アンケートを実施した。その結果で特に大きな変化が見られた項目について、③のアンケート結果にまとめた。アンケート結果より、講話によって生徒自らががんや健康に対して主体的に考え行動するような態度を育むことができた。
- (2) 授業の実践について
1学年の1クラスを対象に実践した「がん細胞発生のメカニズムと、がんの予防」に関する授業では、名寄市立大学の看護学科4年生の5名をグループワークのアシスタントとして授業に参加していただいた。生物基礎の細胞周期や免疫システムを学習した1学年の生徒にとって、専門的な知識を有した学生がグループワークで与える助言は、興味や関心を高めるものとなり、グループワークでの考えをより深めることができた。

⑤今後の課題

- (1) 講話について
事前、事後のアンケート結果を比較したところ、講話後に誤回答が増加した設問や、正答率が低い設問が3問あった。以下に結果を示す。
- ・「がんは日本人の死因の第2位である」という設問に対して、「誤り」と回答した割合は65.6%から61.5%へと変化し、4.1%減少した。正答率は6割程度で低い。
 - ・「たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある」という設問に対して、「正しい」と回答した割合は95.8%から91.7%へと変化し、4.1%減少した。正答率は高いが、誤回答が増加した。
 - ・「体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い」という設問に対して、「誤り」と回答した割合は、96.9%から91.7%へと変化し、5.2%減少した。正答率は高いが、誤回答が増加した。
- (2) 授業について
看護学生との事後の振り返りを行ったところ、授業内容とグループワークのアシスタント方法について、より詳細な打ち合わせを行いたかったという意見をいただいた。学生も意欲的に授業に関わっていただいたが、自分の役割を把握しなかったようである。
- (3) 課題に対する改善について
講話については、講話が行われる以前より講話に臨む態度を高めるワークシートを配布、記入させる等の取り組みの実施をはかる必要があった。がんに対する知識等はほとんどないと考えられるため、何が知りたいか、がんのどんなことに興味をもっているか等を事前に考えさせることで、アンケートの正答率が増加させることができると考えられる。
- 授業については、今回初めて名寄市立大学の学生に協力いただいてアシスタントに参加していただいた。4年生ということもあり学業に負担がないよう授業当日の授業1時間前に来校していただき事前打ち合わせを行ったが、次回このような授業を実施する場合は、具体的な授業内容、アシスタントの個別の役割等を示して授業に臨んでもらう体制をとりたい。

① 学習の様子がわかる写真

外部講師による講話	看護学生との打ち合わせ
 <p data-bbox="185 853 740 891">11月15日（金）7校時 体育館</p>	 <p data-bbox="850 853 1406 891">11月19日（火）3校時 相談室</p>
生物基礎でのグループワーク	グループワークにアシスタントする看護学生
 <p data-bbox="165 1514 762 1552">11月19日（火）4校時 1C教室</p>	 <p data-bbox="831 1514 1428 1552">11月19日（火）4校時 1C教室</p>